

就任の挨拶

木宮 雅徳会長・神保 宏充幹事

木宮 雅徳会長



千代田から世界に広げよう奉仕の輪
Rotary Club of Tokyo Ochonomizu
東京お茶の水ロータリークラブ

木宮雅徳66歳
2回目の会長就任です
全力で頑張ります！

日本の武士道精神にのっとり
先輩を敬い、後輩にやさしく、自分に厳しく
そして、メンバー全員が楽しめるような
クラブにしたいと思っています
よろしくお願ひ致します！

20260701
木宮雅徳

木宮雅徳プロフィール



(株) ブレーンバスターズ 創設者
(株) ジーツーコミックス 創設者
インバウンド・メディア研究所 所長
和歌山県出身
東京大学工学部船舶工学科卒 (3浪3留です)

BrainBusters
G2Comix
Inbound Media Labo.
インバウンド・メディア研究所

《千代田区での活動》

《専門分野》

編集者

マンガ原作者

SNS・AIの研究

タイ

(台湾・ASEAN)

Rotary District 2580 東京お茶の水ロータリークラブ
2022-23、2026-27 会長
地区委員長(デジタル化推進)、副委員長(国際奉仕、広報)

東京商工会議所 東京商工会議所 千代田支部
情報産業分科会 副会長

VISIT CHIYODA 千代田区観光協会 会員

千代田区商工業連合会 千代田区商工連 会員

神田法人会 神田法人会 会員

編集の師匠 角南攻 (すなみ おさむ)

「少年ジャンプ」と名付けた男
元週刊ヤングジャンプ編集長



メタクン
編集王
20140424発売

1979年(昭和54年)5月17日に創刊 →

出版全盛期の仕事 (1987-1995)



【2000年8月8日】
香港マンガサミット参加

香港進出を決めるきっかけ

集英社 YOUNG JUMP

日野義則部長(元編集長)と

集英社第四編集部日野部長と香港マンガサミットに

参加。ヤングジャンプの

日本での携帯コンテンツの

展開を紹介した。

すでに出版不況だった香港

出版界の要人からも講演

内容に注目が集まった

■サミット主催だった香港No.1

の玉皇朝出版のAlanWonさん

や呉輝さん、BillieHornなど香港

人脈の基礎もここで培った



▲2年後には玉皇朝出版のコンテンツをGENEYE香港が配信した

海外イベント参加実績



26-27年度会長方針

Rotary District 2580

①クラブテーマ：
世界一「元気なクラブ」になる！

②行動計画：
千代田から世界に広げよう奉仕の輪

③基本方針：
炉辺会や同好会を活発にし、会員相互の
親睦と奉仕活動へ
オープンな例会、イベントで会員増強！
「メンバー全員参加」のサポート

来年2027年5月は「神田祭」です！ Rotary District 2580
千代田区を盛り上げましょう！



神保 宏充幹事

本年度、東京お茶の水ロータリークラブの幹事を務めさせていただきます
神保宏充です。一年間、どうぞよろしく
お願いいたします。



本日はこのような貴重な機会をいただきましたので、自己紹介、ロータリー活動で得たもの、幹事を務めるにあたって大切にしたいことの三点について、お話しをさせていただきます。

1. 私の職業

私は弁護士として、企業法務を中心に仕事をしております。いわゆる顧問弁護士としての仕事です。弁護士というと、裁判や紛争解決をイメージされる方が多いかもしれません。もちろん、それも大切な仕事です。しかし、私自身は、顧問弁護士には三つの役割があると考えています。

一つ目は、紛争を解決すること。

二つ目は、紛争を予防すること。

三つ目は、経営者の方と一緒に未来を考えることです。

私は最近、この三つ目が最も大切な仕事ではないかと思うようになりました。

経営者の方とお話ししていると、「どんな事業をしたいのか」、「社員にどのように成長してほしいのか」、「どのような会社を作っていきたいのか」といった話になることがあります。単に法律相談にのるだけではなくて、経営者の皆様と一緒に将来を考え、実現のお手伝いをすることに、とてもやりがいを感じています。

2. ロータリー活動で得たもの

私のロータリーの原点は、高校時代にロータリーの青少年交換で来日していたカナダと台湾の留学生と交流する機会を得た時のことです。この経験を通じて、私は外国を身近に感じ、自分の世界を広げることができました。そして、この時、初めてロータリーという存在を知りました。

その後、ご縁をいただき、東京お茶の水ロータリークラブに入会し、早いもので7年が経ちました。この間、私は何を学んだのかと振り返ってみますと、それは、「人との出会いこそが学びである」ということです。

東京お茶の水ロータリークラブの会員の皆様との出会い、例会での卓話者やゲストとの出会い、地区職業奉仕委員会での出会い、米山奨学生との出会い。新たな出会いによって、私は少しずつではありますが、自分の知らない世界を知り、自分の世界を広げていくことができたように思います。

37歳で入会させていただいた私も、今年で45歳となります。「入りて学び、出でて奉仕せよ」という標語は、いつも当クラブの例会場で掲げているものです。この間、もし私が少しでも成長することができたのであれば、それは例会で多くの方と出会い、様々なことを学び、その学びを自分の職業を通じて社会に還元させていただいてきたからだと思っています。顧問弁護士として経営者の方や会社の将来について考えられるようになったのも、ロータリー活動を通じて多くの方から学ばせていただいたおかげです。

3. 幹事を務めるにあたって大切にしたいこと

さて、本年度は木宮会長が掲げた基本方針のもと、幹事としてクラブ運営を支えてまいります。幹事として、本年度は3つのことを大切にしたいと考えています。

第一に、会員同士がつながりを持てる機会を大切にすることです。例会だけでは、なかなかゆっくりお話しできないこともあります。親睦活動や同好会などを通じて、普段あまり話す機会のない方同士が知り合い、友情が生まれる場をつくっていききたいと思っています。

第二に、奉仕の意義を実感できる機会を増やすことです。東京お茶の水ロータリークラブの強みは、都心にあるクラブでありながら、地域に密着した奉仕活動を行っている点です。一人でも多くの会員の皆様が、ここ千代田の良さを改めて認識し、奉仕の楽しさや喜びを実感できる一年にしたいと考えております。

第三に、入会歴の浅い会員の皆さんを温かく迎えるということです。私自身も、先輩方に温かく迎えていただいたからこそ、今日までロータリー活動を続けることができました。新しく入会された方が、「このクラブに入って良かった」、「ここなら安心して参加できる」と感じられる雰囲気、皆様と一緒につくって参ります。

最後になりますが、私自身は、「奉仕」という言葉を大切にしております。「奉仕」というと、自分を犠牲にするものというふうにとらえる方もいるかもしれませんが。しかし、ロータリーで学んだことは、人のために行動をすることが、結果として自分自身の成長にもつながるということでした。

この一年間、幹事という役割を通じて奉仕をさせていただくこととなります。木宮会長を支え、会員の皆様が気持ちよく活動できるようクラブを支えることが私の役割です。そして、私自身も成長をさせていただきたいと考えております。至らない点も多いかと思いますが、皆様のお力をお借りしながら、皆様とともに実り多い一年にしていきたいと考えております。